

# HIC 通信

Vol. 120

April 2023  
Hiroshima  
International  
Center



ひろしま留学大使修了式

## 目次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」

P3 お店訪問

P4 ひろしま留学大使

P5 事業報告

交流部

広島県留学生活躍支援センター

P8 研修部トピックス

P9 ホームステイ・ホームビジット受入家族募集

留学生ボランティア派遣受入団体募集

文化施設等優待カード

P10 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P11 JICALレポート

こちら JICA 中国

# 私の国と日本

## フランス編

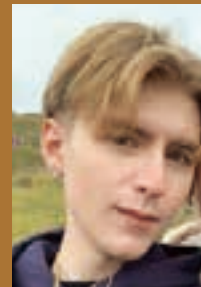
県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます!



### 留学生紹介

ヴェドリヌ ウィリアム ジャン フランソワさん

みなさん、ご機嫌よう! 広島修道大学大学院社会学専攻の一年生、ウィリアムと申します。私は河口教授のもとで社会学、とりわけジェンダーやセクシュアリティスタディーズを専攻しています。来日して6年近くが経ち毎日充実した生活を送っています。しかし、誰だって日々のストレスが少しずつ溜まって、一気に発散したくなる時があるでしょう。そんな時僕は散歩に出て自然の世界に浸り、ひとときの間現実を忘れることが好きです。昨年の夏、帰国した際に歩いたフランスのアルプス山脈の紹介を通して、フランスと日本の違いをみなさんにお伝えしたいと思います。



#### 季節や気候

フランスとイタリアの境界線の近くにある「Valcenis」(ヴァルスニ)というフランス側の小さな村から出発しました。

朝9時、車で12キロぐらい走ると、そこにはダムによる人工の湖が霧の中に静かに眠っています。ところどころにまるで水の妖精のように鮮やかな小さな花が風と共に踊っています。そこでは真夏にもかかわらず涼しい風が吹いていました。

日本に来てからよく聞かれることがあります。フランスには日本と同じように四季はありま



霧の中の湖



湖のほとり

すか?と。フランスにもちゃんと四季があります。しかし、それぞれの季節の気候は日本と若干違って特に夏が違います。全体的に気温が日本に比べて低めです。そして、何よりも日本みたいに湿気はありません。カラッとした暑さなので断然に過ごしやすいと私は思います。



#### 物語の世界へ

目の前に広がる風景に魅了され、歩いていると湖に辿り着きました。しばらく湖を見つめると、子供の頃におじいちゃんがよく語ってくれたある魔物の話を思い出しました。その魔物の名前は「La Vouivre」(ラ・ヴウーイヴル)と言って、蛇や龍のような体をしており湖の底に巣を作り、たくさんの宝石や金の宝物を守っているのです。自分が今見つめている湖の底深くにどんな宝物が隠れているのでしょうか。頭の中で想像が膨らみ1時間ぐらい経ってしまいました。

そして湖に沿って歩いていると突然目の前にとっても可愛らしい石橋が現れました。見た目からするとずっと前からあるのでしょう。こんな山奥に、よくもそんな綺麗な状態のままで! そうだ! きつ



川に架かる石橋

と橋の下を棲み家にしたトロールが絶えずコツコツと石橋を直しているのではないか! フランスでは橋の下にトロールという生き物が住んでいるとされています。北欧のトロールと違い、フランスのトロールは人間の身長半分ぐらいで、変身能力を持っているのでどんな形にでもなれると言います。トロールはイタズラが好きなので橋を渡る時には気をつけましょう。もし私がトロールの変身能力を持っていたら、きっとまん丸で可愛い石になり一日中日向ぼっこしたかったと思います。

#### おすすめの料理

さて、車に戻る前に何か美味しいものを食べたいところです。ちなみに日本人とフランス人が食事する時間帯が全然違うということを知っていましたか? たとえば、日本人が17時半から19時の間に晩御飯を食べることが多いと思いますが、フランス人の晩御飯は20時半ごろから始まることも珍しくないです。

帰り道の途中にある小さな店で食事をすることにしました。山といえばやっぱりチーズですね。Valcenis地方の名物は「Beaufort」(ボーフォール)と言って、牛乳を原料としたチーズです。夏の間に放牧牛の牛乳から作られ、生産地は海拔800メートル以上と限定されます。甘味が感じられ「青草、花、フルーツ、ナッツ」と表現される複雑な風味を持っています。Valcenisはパスタが有名なイタリアとの境界線の近くにあるので、ジャガイモを原料にしたパスタ「Gnocchi」(ニョッキ)に、ボーフォールチーズのソースをかけた料理を食べることにしました。パスタが柔らかくて濃厚なソースと絡んで口の中にとろけてしまいました。みなさんにも食べてもらいたいぐらい美味しかったです。



ボーフォールチーズをつかったパスタ「Gnocchi」



#### 最後に

フランスの自然と魔物や伝説の力に癒された私は、家に帰ってゆったりとした気持ちで勉強に集中しつつ夕暮れを迎えました。みなさんも頭に霧がかかった時に是非とも散歩に出て想像力を爆発させてください。



H I C 通 信

## お店訪問

外国料理のお店や外国食材専門店などを取り上げていきたいと思います。  
第5回の「お店訪問」は、  
広島市中区広瀬町にある、  
台湾薬膳料理の「青葉(あおば)」にお邪魔しました。

**HIC:ご出身はどちらですか。**

秋蘭さん:台湾の南部,高雄です。子供のころは日本の神戸で育ちました。

**HIC:広島に来られたきっかけは。**

秋蘭さん:神戸から福岡に行く予定だった時,たまたま広島に立ち寄りしました。

その時に見た,瀬戸内海の島や海的美しさに魅かれ広島に長く住むことになりました。



店舗入口

**HIC:広島では最初からお店を出そうと思われていたのですか。**

秋蘭さん:最初は会社勤めをしていました。その後,台湾の薬膳料理で皆さんを元気にしたいと思い,広島市内の薬研堀に「青葉」というお店を出しました。

**HIC:台湾の人はよく薬膳料理を食べるのですか。**

秋蘭さん:はい,台湾では家庭料理として食べられています。それぞれの家で代々受け継がれた味で日常的に食べています。

**HIC:青葉さんの店名の由来は。**

秋蘭さん:青葉は日本らしい言葉ですし,グリーンライフという発想から若々しさや健康的なイメージがあると考え付けてきました。

**HIC:お店を出して苦労されたことはありますか。**

秋蘭さん:薬研堀にお店を出したのは今から35年前ですから,まだ薬膳料理はまったく知られていませんでした。味が薄いと言われていたりして,すぐには受け入れてもらえずとても苦労しました。

**HIC:その後どのように広まっていったと思われますか。**

秋蘭さん:来店されたお医者様の紹介で,お医者さんから患者さん,患者さんから一般の人達に広まっていったと思います。

それから,テレビで薬膳料理が取り上げられた影響も大きかったですね。

**HIC:現在の広瀬町に移られたのはいつ頃ですか。**

秋蘭さん:30年前です。静かな場所で一人一人のお客様と向き合い,健康に良い薬膳料理を理解してもらいながら食べていただく,そういう環境を作るのが夢だったので。

**HIC:一番のお勧めメニューは何ですか。**

秋蘭さん:何といっても「薬膳鍋」です!! 当店の特徴は,四季それぞれにスープの味を変えているところです。25種類の薬草を組み合わせた,季節ごとに違う味の薬膳鍋は,他のどこにもない青葉の看板メニューです。



看板メニューの「薬膳鍋」

**HIC:薬草はどこから仕入れていますか。**

秋蘭さん:台湾から直接取り寄せています。お客様の体調に応じて薬草を調整します。

「医食同源」という考え方を大切に,人を健康にしたいという社長の熱い想いが伝わってきました。本日はお忙しい中,貴重なお話をたくさん聴かせていただき有難うございました。



店舗情報

台湾薬膳料理 青葉(あおば)

〒730-0804 広島市中区広瀬町7-25  
営業時間:【平日】ランチ 11:30~14:00(L.O.13:30)  
【平日】ディナー 17:30~22:00(L.O.21:30)  
【土・日・祝】17:30~22:00(L.O.21:30)  
定休日:水曜日 連絡先:082-233-5889

社長の秋蘭(トウシュウラン)さん

# 「2022 ひろしま留学大使」 の活動を報告します!

Hiroshima Study  
Abroad Ambassador



授与の様子

広島県内の各大学から応募のあった留学生のうち、一定の条件をクリアした25名を「ひろしま留学大使」として任命し、2022年9月から約半年間、広島留学の魅力発信や、地域・留学生を取り巻く課題について解決策の検討やプロジェクトの企画・実践に取り組みました!

3月5日(日)には修了式を開催し、修了条件を満たした17名に修了証を授与しました。修了式後は、着物着付け体験をし、縮景園を散策して、お互いの頑張りをねぎらいました!

ひろしま留学大使の皆さん、コーディネーターの合同会社ひとむすびさん、日本人学生サポーターさん、関わってくださった全ての皆さん、ありがとうございました!!!



修了証と一緒に!

## SNSでの情報発信

個人のSNSアカウントを利用して、月ごとのテーマに沿って、広島の魅力、学校生活や普段の暮らしなどを発信しました。

## HIC Challenge Club

合同会社ひとむすびや日本人学生サポーターの協力を得て、月1回の研修を行いました。研修では4グループに分かれ、地域や留学生に起こる課題について、その解決方法を探る活動をしました。「食の困りごと解決」「多様性への理解」「外国の子どもたちへの支援」「衣服リサイクル」をテーマに、グループで協議や作業を重ねました。大学や施設などでのイベント開催やSNS投稿など、地域の人の協力も得ながら、解決策に向けて実際に行動に移すことができました。

1月28日(土)にはその成果について、地域住民や他の留学生に向けた活動報告会を行いました。



HICチャレンジクラブの様子



活動報告会の様子



活動報告会での集合写真

報告会の様子は  
こちらから



## 日本文化体験

華道・茶道、着物の着付け体験など、日本文化の魅力を体験することができました!



華道



茶道



着物着付け体験

## ひろしま留学大使にインタビュー



インドネシア出身  
広島大学



HAUNA HANIN AZKA SUBAGYOさん

広島に在住して1年も経っておらず、広島にいる留学生と交流できる機会を増やしたいため、留学大使に応募しました。グループ活動を通し、メンバーたちと意見を交換し合い、自分のためにも役立つ新たな情報を得られたことが良かったです。今後とも全グループが取り上げたプロジェクトが少しでも多くの人に役立つと嬉しいです。



ベトナム出身  
比治山大学



Pham Minh Hieuさん

コミュニケーション力やチームワーク力を身につけたいために、ひろしま留学大使に応募しました。他の留学生と努力しながら課題に取り組むことができ、世の中には自分とは異なる意見が数多く存在することを知って視野が広がりました。貴重な体験でした。



中国出身  
広島大学



丁秀玉さん

大使に応募した理由は、他国・他地域・他校の方も含め、広島に住む様々な方と交流することで、地域理解を深めたいと思ったからです。様々な方と協働して、一つの地域課題の解決に挑戦してみました。皆さんのおかげで、一つ一つの困難を乗り越えて目標達成できました。自己成長も感じる事ができて、とても貴重な経験でした。

## 交流部

## Report 1 医療通訳ボランティア派遣事業について

ひろしま国際センターでは、日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんが、安心して医療・保健サービスを受けられるよう、利用登録のある医療機関等に医療通訳ボランティアを派遣しています。

## 対応言語

英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語

## 通訳内容（ボランティアの活動範囲）

医療機関	受付、診察、検査、会計、病室、薬局など
保健機関	母子健康手帳の交付、3歳児健診時の問診・診察・保健指導など

## 令和4年度派遣実績（令和5年2月28日現在）

英語	中国語	ベトナム語	タガログ語	ポルトガル語	スペイン語
45	61	1	16	3	19

詳細はこちらのWEBサイトをご覧ください。▶ [https://hiroshima-ic.or.jp/volunteer\\_medical/](https://hiroshima-ic.or.jp/volunteer_medical/)

## 交流部

## Report 2 災害多言語支援センター事業で研修・訓練を実施

災害多言語支援センター事業の一環として、広島県内に大規模災害が発生した場合を想定し、外国人住民及び市町等への支援を迅速かつ円滑にできるよう、広島県・市町・国際交流協会・ボランティア及び関係職員を対象にした研修・訓練を実施しました。

参加者からは、「事例紹介や演習が役に立った。」「他の立場の方々と話し合えて良かった。」「日頃の備えが大切だ。」などの感想が寄せられました。



情報発信の演習に取り組む様子

実施日	2023年3月8日(水) 13:30～16:00
場所	ひろしま国際センター 交流ホール 広島クリスタルプラザ6階（対面式およびオンライン）
講師	公益財団法人佐賀県国際交流協会(SPIRA) 企画交流課長 矢富 明德 様
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害多言語支援センターの役割、訓練の意義・概要説明</li> <li>・SPIRAが佐賀県、熊本県で実際に活動した事例を紹介、平時の備えの重要性</li> <li>・外国人に係る情報収集・情報発信、避難所での接し方・具体例 ※今回は大雨を想定した演習</li> <li>・参加者の気づき、講師からのアドバイス</li> </ul>

## 交流部

## Report 3 ボランティア通訳ガイド講習会を開催しました!

2月25日(土)に、当センターの通訳・ガイド、翻訳ボランティア等を対象とした「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催しました。講師に一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会会長の畝崎雅子様をお招きし、通訳ガイドを行う際のポイントや、今回のガイド地である福山を英語で紹介するなどの実践練習を行いました。

3月からは約3年ぶりにクルーズ船の日本来航が再開し、広島港への寄港も多数予定されているため、乗船客への通訳ボランティアの依頼が続々と入って来ています。ボランティアの皆様にとっても約3年ぶりの活動再開となり、「待ってました!」という嬉しい声もいただきました。



グループワークの様子

## 交流部

## Report 4 第3回国際理解講座(オンライン形式)を開催しました!

1月22日(日)に第3回国際理解講座「パキスタンの洪水から考える気候変動問題」を開催し、講師として環境活動家の谷口たかひささんと、国際NGO HOPE '87 パキスタン支部長のショアイブ ハイダーさんにご講演いただきました。

広島県内外合わせて約30名の中高生や大学生の方が参加し、講師から地球上で起きている気候変動問題を映像とともに解説していただき、実際に世界中で発生している大災害の脅威を学びました。今後、異常気象や気候変動によって食糧危機が起きれば、人々は争い、自然よりも先に平和が崩壊するということや、地球環境問題に無関心であっても無関係でいられる人は一人もいない! 地球を守るために今すぐ行動しよう! というメッセージに共感していました。

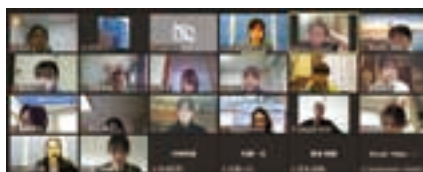
受講者の皆さんは講師に質問したり積極的に参加し、満足度がとても高い講座となりました。



環境活動家・谷口たかひさ氏



国際NGO HOPE '87・ショアイブハイダー氏



受講の様子

講演の様子は  
YouTubeにて  
配信中です



<https://youtu.be/6zlxYZbXGRM>

## 交流部

## Report 5 「餃子づくり交流会」で美味しい交流!

2月4日(土)に、中国の旧暦のお正月「春節」で定番の食べ物である餃子を作りながら楽しく異文化交流する「春節を祝う餃子づくり交流会」を開催しました。

講師の田中さん、NPO法人虹橋の会のメンバーをお招きして、中国式の水餃子を作りました。先生が作ってくださった麻婆豆腐・トマトと卵の炒め物も堪能しました。

餃子の皮の作り方を先生に丁寧に教えてもらいながら、和気あいあいとした雰囲気の中で調理・実食しました。水餃子の感想は「もちもちした食感がおもしろい!」「味がしっかり付いていて美味しい!」と大好評でした。

日本の餃子との食感や作り方の違いを体験したり、中国の文化を知ることができました♪ 今後もいろいろな国の文化を伝えるためのイベントを企画してまいります☆



麻婆豆腐



水餃子



餃子の皮を形成している様子



餃子を茹でる様子

## 留学生活躍支援センター

## Report 6 「雪生活体験2023」で高校生と大盛り上がり!

2月10日(金)に、北広島町にある広島県立加計高等学校芸北分校の皆さんにご協力いただき、雪生活体験イベントを開催しました! 広島県内在住の外国人29名(16か国・地域)にご参加いただきました。

午前にはスポーツ雪合戦やかまくら、雪だるまづくりや雪の滑り台など、生徒の皆さんに教えてもらいながら雪遊びを満喫しました。雪を見るのが初めてという参加者もあり、かまくらに入って写真を撮ったり、力を合わせて大きな雪だるまを作ったりと皆それぞれ雪体験を楽しみました。

午後は交流会として<sup>かぐら</sup>神楽部の生徒さんによる神楽を鑑賞し、衣装の試着体験をしました。また参加者による外国芸能の披露もあり、バングラデシュの歌やナイジェリアのダンスが披露されました。最後はインドネシアのダンスを皆で輪になって踊り、大変盛り上がりしました。



スポーツ雪合戦



インドネシアのダンスをみんなで

## 留学生活躍支援センター

### Report 7 就職活動実践セミナーを開催しました!

令和4年度は、広島会場で2回、東広島会場で1回、外国人留学生を対象とした「就職活動実践セミナー」を開催しました。昨年8月7日（日）、12月26日（月）にひろしま国際センター（広島会場）にて、今年2月12日（日）に東広島芸術文化ホールくらら（東広島会場）にて行い、広島県内の留学生計20名が参加しました。

当日は、就職活動の流れ、日本企業の文化やエントリーシートの書き方等について学んだ後、実践を行いました。実践では、各々が自己分析をし、一人ずつ自己PRを発表したり、グループ面接形式で練習をしました。皆さん真剣に取り組んでおり、各自エピソードを交えながら、うまく文章をまとめていました。

皆さんの希望が叶うことを心から応援しています！



8月7日 広島会場の様子



12月26日 広島会場の様子



2月12日 東広島会場の様子

## 留学生活躍支援センター

### Report 8 合同企業説明会で就職に向けた準備開始!

3月10日（金）に、広島国際会議場で外国人留学生向けの合同企業説明会を開催し、広島県や岡山県の留学生約50名が参加しました。説明会開始前には、模擬面接会と就職活動開始セミナーを行いました。模擬面接会では、本番と同じ流れで面接の練習を行い、就職活動開始セミナーでは、選考の流れやエントリーの仕方、面接時のポイント等、日本での就職活動についての講義を受けました。

合同企業説明会では、企業24社が参加し、各ブースに分かれて会社概要、採用情報の説明や会社のPRを行い、参加留学生は真剣に耳を傾けていました。また、相談コーナーでは、広島出入国在留管理局、広島労働局および広島県留学生活躍支援センターのキャリアコンサルタントのテーブルを設け、各専門分野の相談に応じました。

ご出展いただいた企業の皆様、相談コーナーでご対応いただいた皆様、ありがとうございました。



セミナーの様子



合同企業説明会の様子

## 留学生活躍支援センター

### Report 9 「留学生による広島留学動画コンテスト」入賞作品が決定しました!

2月13日（月）に、「留学生による広島留学動画コンテスト」の表彰式を開催し、入賞者の表彰が行われました。このコンテストは、留学生が「広島に留学したくなる動画」をテーマに、大学の魅力や住んでいる地域の魅力紹介などを題材に、動画で広島留学の魅力を伝えてもらうものです。

5年目となる今年は、過去最多の45作品の応募がありました。クオリティもこれまでより高い作品がそろい、入賞作品の選考が大変でした。

表彰式はオンラインと会場のハイブリット形式で開催し、入賞した7作品の表彰と上映、受賞者は受賞の喜びや制作意図を語り、審査委員から講評をいただきました。

応募作品は「広島県留学生活躍支援センター」のYouTubeチャンネルで視聴できますので、是非ご覧ください。



最優秀賞を受賞したミアムさん（中）とクリスさん（右）



受賞者と審査委員の皆さん

YouTubeにて [2022広島留学動画コンテスト](#) と検索



ひろしま国際センター研修部で、今冬に実施したプログラム・取り組みをご紹介します。プログラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に講じています。

## その1 東広島市立御薗宇小学校のとんど大会への参加【JICAからの受託事業】

ひろしま国際プラザから徒歩15分の場所にある東広島市立御薗宇小学校で行われるとんど大会に、1月21日（土）、3年ぶりにうかがいました。

最初は、各クラスとの交流の時間。日本の遊びを教えてもらったり、日本のお正月や世界各国のお正月な



シリアのカジャブさんはあやとりに挑戦

どの行事について紹介しあったりしました。ベトナムや中国の人にとっては、翌22日からお正月。ひろしま国際プラザ滞在中の日本語教師養成コースのミーさん達は、新年に食べるご馳走について話しました。

その後は校庭に出て、地域の方が作ってくださったとんどに点火。パチン！パチン！と音が聞こえてくると、

「何の音？」と、びっくり。竹がはじける音だと分かったら「火薬か何かかと思った！」と笑っていました。燃え盛るとんどの迫力にびっくりしながらも、皆、楽しい時間を過ごせたようです。



立派なとんどが出来上がりました



パチンパチンと音を立てて燃え上がります

## その2 インド大使館寄贈の「アプサラ像」展示中!

インド大使館より寄贈されたアプサラ像（インドと日本の友好を象徴する像：右の写真）の展示を昨年12月より開始しました。近くにお越しの際は是非ご覧ください。

広島県は、教育・文化・経済等多方面においてインドと友好関係にあり、昨年の国交樹立70周年を機に広島県にこの像が寄贈されました。



早速見学に来られたインドのご家族



アプサラ像

この度さらなる友好促進を図るため、またより多くの皆様がこの像を見て頂くため、展示先として当センターが選ばれたものです。なお、現在はフロント横に展示しておりますが、今後は館内の図書室に移動し、ゆっくり見て頂けるようにする予定です。



アプサラ像との記念写真



# ホストファミリー募集中です!

広島県内の大学や専門学校等に通う外国人留学生をご自宅に招いて、国際交流してみませんか？  
資格・経験は問いません。日帰りや一泊二日でホストファミリーとして留学生の受入れに興味がある方は、ぜひご応募ください。



- **申込条件**  
ご家族全員の同意が得られている方
- **費用**  
原則食事代などはお支払いいたします。
- **申込方法**  
下記ウェブサイトより詳細をご確認の上、申込書をダウンロードしてメールかファックス、郵送にてご提出ください。

**提出先**

メール：office@int-students-hiroshima.jp  
FAX：082-243-2001  
郵送：〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 ひろしま国際センター 宛

詳細・申込はこちら <http://bit.ly/3F40Lkd>



## 留学生ボランティア派遣受入れ団体を募集しています!

県内の外国人留学生や日本人学生が地域との交流や国際交流・国際協力事業等への参画を促進するため、また地域の国際交流や多文化共生を支援するため、県内の留学生を派遣します。

**過去の事例**

- ・ 県内の高校に留学生が訪問し文化交流
- ・ 地域のお祭り
- ・ 地域の語学講座等

**派遣団体**

市町・学校・自治会や学生団体、国際交流団体など  
※個人からの依頼は対象としていません。

**派遣の依頼方法**

下記ウェブサイトより詳細をご確認の上、「派遣依頼書（様式第2号）」をダウンロードしてメールかファックス、郵送にてご提出ください。

**提出先**

メール：office@int-students-hiroshima.jp  
FAX：082-243-2001  
郵送：〒730-0037 広島市中区中町8-18  
広島クリスタルプラザ6階  
ひろしま国際センター 宛

詳細・申込はこちら <https://bit.ly/3LGAfRk>



## 県内文化施設等優待カード(HiCISメンバーズカード)申込受付中!

We are accepting applications for discounted HiCIS member cards!

ひろしま国際センターでは、日本や広島の文化・芸術への理解を深めてもらうため県内の文化施設等の入場料・拝観料が無料、もしくは割引される優待カードを発行しています。

The Hiroshima International Center issues HiCIS members cards which give free or discounted entry to cultural facilities in Hiroshima. This card is to help deepen your understanding of Japanese and Hiroshima culture and art.



■ **カード特典** Membership benefits

- ・ 広島県内の文化施設（美術館・博物館・水族館・神社・資料館）の入場料が、無料もしくは割引料金で利用できます。  
・ Enter cultural facilities in Hiroshima (art galleries, museums, aquariums or shrines) for free or at a discount.
- ・ 広島県留学生生活支援センターのイベント情報が、メールマガジンで配信されます。  
（配信を希望するかどうかは、申込むときに選べます。）  
・ Receive an email newsletter with info on HiCIS events. (Optional subscription; opt in or out when you sign up)

■ **申込対象者** Eligible applicants

- ・ 広島県の大学や高等専門学校、日本語学校等に通う留学生（「留学」ビザの方）  
・ International students from universities, technical colleges or Japanese language schools etc. in Hiroshima

申込はこちらから  
For the application form



詳しい情報ははこちらから  
For more info



# Hello Hiroshima

Vol.120 April 2023



## Life of a CIR

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator for International Relations)

For those of you who don't know, I was hired through the JET (Japan Exchange and Teaching) Programme 3 and a half years ago, and have been working as a Coordinator for International Relations (CIR) at the Hiroshima Prefectural Government ever since. As I approach the end of my fourth year (wow, time flies), I thought I would share with you all a little bit about my job.

While all CIR placements are different, according to the JET website, the CIR position consists of "...assisting local government offices in international exchange activities at the local level...[and] major duties often include translation/interpretation for government officials, teaching community or school English classes, and international exchange event planning and implementation."

This sheer diversity of the work is one of my favorite parts of being a CIR.

One day I'll be wearing a Santa hat, singing and dancing

to Jingle Bells with adorable elementary school students, as I teach them about the American holiday season. The next I'll be translating the Governor's speech for an upcoming government official reception dinner. A week after that I'll be MCing a livestream tour of Miyajima's Daishoin Temple (pictured). You never know what new and unexpected experiences the next month will bring, and what you'll learn from them!

This job has also been an incredible opportunity to meet kind and inspiring people from all different backgrounds. I have been honored to meet A-bomb survivors who have dedicated their lives to sharing their testimonies, hardworking and generous international students from all over the world, inspiring foreign diplomats and government officials, and open-minded Hiroshima people interested in foreign languages and cultures.

I can only speak for my own placement and personal experiences, but if you have high Japanese proficiency and are interested in a diverse, stimulating job, I recommend applying to be a CIR. It has given me many unique and exciting opportunities, and has challenged me to grow in both a professional and personal sense. If I were to go back in time, I would still choose this job without hesitation. However, whatever path you are on, I wish you the best of luck. If our paths have crossed before, thank you, and if not, I hope they will soon! Have a fabulous spring 2023.



Upcoming

## Event News



### ユニセフ講演会「アフリカのスラムに学校を作る ～子どもたちの笑顔、命の輝き～」

ケニアの首都ナイロビ最大の貧困区域キベラスラムで、孤児や困窮児童のための学校「マゴソスクール」を運営されている早川さんに、現地や子どもたちの様子をお話していただきます。

日 5月27日(土) 時 13:30~15:00 場 合人社ウエンディひとまちプラザ北棟5階 研修室B  
定 40名 講 早川千晶さん(ケニア在住35年/撮影コーディネーター、ライター、通訳「アフリカを深く知る旅」案内人)  
費 無料 問 広島県ユニセフ協会 担当者: 高田 和美 TEL: 082-231-8855  
mail: unicef-hiroshima\_06@theia.ocn.ne.jp

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントが延期又は中止になる場合があります。事前に主催者に確認してください。

### 【国際協力×地域課題解決】JICA大学生・院生向けフィールドワーク合宿を2023年夏に実施予定です!

JICA中国では、今年の8-9月にかけて、中国5県の大学生・院生対象、「国際協力×日本国内の地域課題解決」をテーマに、1週間程度の対面型合宿を2つ実施予定です。

舞台は、瀬戸内海のしまなみ海道沿いに浮かぶ広島県尾道市因島、そして森林とローカルベンチャーでも有名な岡山県英田郡西粟倉村。

約1週間で、国際協力や地域づくりの第一線で活躍する講師陣から地域課題解決の手法を学び、現場に足を運んで(フィールドワーク)課

題を洗い出し、課題解決のためのアクション検討・実行まで行います。

募集開始は5月ごろを予定しています。詳細はJICA中国HPやSNS等で告知予定です(定員を超えた場合、選考を実施します)。

「国際協力」や「地域課題解決」に関心のある方のご応募をお待ちしています!

過去の因島フィールドワークの様子は  
こちらから



2022年実施 因島フィールドワーク集合写真

※大学生フィールドワークに関するお問い合わせ先: JICA中国 市民参加協力課 塗木・齋藤 cictpp@jica.go.jp

JICA海外協力隊

## 広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！



広島から世界へ！現在(2023年2月末現在)、広島県出身のJICA海外協力隊22名が世界で活躍しています！



### JICA海外協力隊

「自分の技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という意志を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象です。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の課題解決に取り組めます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域・社会に還元することが期待されています。

## JICA海外協力隊 2023年度春募集まもなく開始！

2023年5月19日(金)～2023年7月3日(月)

派遣期間2年間の長期派遣案件に対する募集が始まります！

長期派遣の募集は年間2回実施しており、今回は今年度最初の春募集です。

開発途上国には様々な課題がありますが、同時に豊富な可能性にも満ちており、ぜひ国内外で新しいチャレンジしてみたい方にぴったりのフィールドです。派遣前の訓練もあり、現地での安全対策もしっかりと行っています。JICA海外協力隊という、特別な経



験や豊富な知識が必須と思われるがちですが、新卒で参加される方や、数年の社会人経験を経て派遣される方も多くいます。派遣先でどんな活動があるか、ぜひホームページを覗いてみてください！

相談窓口

広島県JICAデスク 新庄 芳菜恵  
080-2934-8494  
jica\_hiroshima\_desk@jica.go.jp



応募はもちろん現地での生活について等、具体的に応募を考えていない方でも気軽にご相談ください！お待ちしております。詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。

## 広島県JICAデスクに新庄さんが着任！

新庄さんにこれからの業務への意気込みを聞いてみました。

### ① 協力隊での活動内容

障がい児をもつ母親が立ち上げたNGOで障がい者の就職支援をしていました。ヨルダンには経済的自立にむけた施設がなかったため、①日本の作業所のような授産施設の機能を既存施設にもたせる、②就職を希望する人にはトレーニングを経て一般就職を目指す、という取り組みを行っていました。



### ② ヨルダンの様子

砂漠の国のようなイメージをもたれる方も多のですが、春には花が咲き、冬には雪が降ることも。道を歩いていると、お茶に誘われ、お土産

を持たされることもしばしば。そんな四季とおもてなし文化が日本と似ている中東の国です。



### ③ 参加して思うこと

協力隊に参加しなければ、ヨルダンという遠く離れた国のことをこんなに知ることはなかったと思います。そして、いろんな国に派遣される仲間ができたことで、帰国してからも世界中に身近に感じる国ができ、これまでどこか遠くの出来事と感じていたことも自分ごとに捉えられる国や地域が増えたのは、多くの人に支えられて参加することができた協力隊のおかげです。

## Profile

新庄 芳菜恵さん

府中町出身。広島大学の卒業後、福祉施設で勤務。2014～16年にJICA海外協力隊としてヨルダンで2年間活動。帰国後、JICA中国にて民間連携事業従事、大阪で映像制作会社勤務。2023年3月より広島県JICAデスク（国際協力推進員）着任。



協力隊派遣国：ヨルダン  
活動職種：障害児者支援



### 広島デスクとしての目標

今は団体や組織でなくても、個人の力でムーブメントを起こせる時代になりました。そんな時だからこそ、広島の皆さんにより世界のことが身近に感じられるように、そしてたくさんのご縁を紡いでいければと思います。これからよろしくお願ひ致します！

## 「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

フロレス・エンリクス・コンスタンサ

### HIC article: Flores Henriquez Constanzaさん(チリ)

Hello there! This is Constanza from Chile, a graduate student at Hiroshima University. I made the decision to relocate to Hiroshima International Plaza (HIP) in 2021 after spending six months living in my own residence in Taguchi. The positive feedback I got from friends who already lived there was one of the factors in my selection. The surroundings are stunning, especially during the Sakura season, and the facilities are excellent (gym, restaurant, library, tennis court). At that time, my friends and I would go to the gym inside the HIP to play badminton, tennis on the tennis court, and table tennis. My favourite sport is tennis, so the thought of having a court to play on was really alluring. They have a music room where you can play instruments, including an electronic piano, and I also enjoy playing the piano there! The amenities were excellent, but I had other things in mind. Making new acquaintances and maintaining

the active social life I was accustomed to in my country was very difficult for me to adjust to while living in Saijo. The pandemic at the time did not help either. I started to feel quite alone and isolated. One of my best choices during my time in Japan, has been to move here and join the Global Relation Program (GRP). I would strongly advise anyone interested in living in a multicultural setting to give this program some thought. It is a very wonderful area where you may take advantage of the amenities, meet new people, and participate in GRP activities to get to know more people while also learning more about Japanese culture and the cultures of other international students and trainees. Living here is absolutely recommended; it's a lovely area, and the GRP program is fantastic =)! Without a doubt, I will treasure these memories in my heart! ありがとうございます。



### グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料  
1泊800円 管理費2,550円/月  
月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

## 外国人留学生奨学金への寄付を募集しています

当センターでは、企業や県民の皆様からのご寄附を受けて、県内の私費外国人留学生に奨学金を支給しています。(令和4年度の実績：43名、渡日等留学生支援に係る奨学金も含めて全体で66名)

外国人留学生の多くは、アルバイトをしながら勉学に励んでいますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、アルバイトができず、母国の家族からの支援も望めない留学生が数多くいます。このような経済的に苦しい状況下にある外国人留学生への温かいご支援をお待ちしております。



令和4年度奨学金決定通知書授与

企業・団体の協力による奨学金

1口 370,000円

県民の協力による奨学金

1口 5,000円

※口数の制限はありません。留学生には月額30,000円を1年間支給致します。

### 交流部&留学生生活躍支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F

TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001

E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

#### ■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00

日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



### 研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751

E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

#### ■開館時間 [情報センター・図書室]

月～金 10:30～12:30, 13:30～19:00

土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始(12/29～1/3)はお休みです。

※その他、臨時休室の場合は、HPで随時お知らせします。

※NGO交流室は休室中です。

